

防犯関連の情報発信の充実、見せる防犯の更なる拡大

1 情報発信の充実

(1) 京都市公式HPによる情報発信強化

令和5年7月から京都市公式HPである京都市情報館に、「防犯情報（自転車盗対策・特殊詐欺対策など）」のページを新たに設け、罪種別の犯罪状況や京都府警察などの専門相談窓口への案内、啓発物の紹介等の情報をより伝わりやすく、活用しやすいよう更新した。

今後、本市公式SNSや作成する各種チラシ等に二次元コードを掲載し、市民等がより簡単に各種防犯情報を得られるように取り組んでいく。



○二次元コード

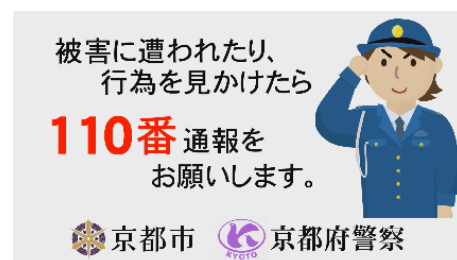


(2) 若者向け防犯デジタルブック（ハンドブック）の作成

対策を講じるべき罪種のうち、10歳～20歳代の身近で起こりやすい犯罪である自転車盗や性犯罪を中心に各種対策を記載した防犯啓発デジタルブック（ハンドブック）を作成し、京都市公式HPでも掲載する（※令和5年秋頃発行予定）。

(3) YouTube 広告機能を活用したターゲティング広告

YouTube において、特定のユーザーグループに広告を配信する機能を活用し、各種防犯啓発を実施。8月中旬及び1月初旬には痴漢、盗撮等の性犯罪被害防止対策の啓発を実施し、今後、高額バイト（特殊詐欺）防止対策の啓発を実施予定。



2 見せる防犯の更なる拡大

青色防犯パトロールや登下校時における“ながら見守り”、パトロールランニング（パトラン）など、地域住民による自主防犯活動の存在を積極的にアピールすることで、犯罪者に対して「このまちでは犯罪ができない」と思わせ、犯罪を起こしにくいまちづくりにつなげる。これに向けて、各種防犯活動の支援や取組の好事例などの周知・共有等を積極的に行っていく。

○青色防犯パトロール



○パトラン



3 第3次計画（計画後期）の今後の取組の進め方

計画後期に行う主な取組

- ・ 見せる防犯の拡大
- ・ 情報発信の強化